当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2023年９月20日から2045年９月15日までです。	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の取引所等に上場している半導体関連企業※の株式（これに準ずるものを含みます。）に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※半導体関連企業とは、半導体用途の多様化等による半導体産業の拡大から業績面で恩恵を受ける企業をいいます。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	当ファンド	Next Generation Semiconductor Fund（円建て、ヘッジなしクラス）の受益証券および日本マネー・マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	Next Generation Semiconductor Fund（円建て、ヘッジなしクラス）	主として、日本を含む世界各国の取引所等に上場している半導体関連企業の株式（預託証券（DR）を含みます。）を主要投資対象とします。
	日本マネー・マザーファンド	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
主な投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	年２回、３月および９月の各月の16日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、分配対象収益の範囲内で、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。 委託会社の判断により、収益分配を行わないことがあります。	

第６期

運用報告書（全体版）

世界半導体関連フォーカスファンド

【2026年９月16日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「世界半導体関連フォーカスファンド」は、2026年９月16日に第６期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SBI岡三アセットマネジメント
〒104-0031　東京都中央区京橋２－２－１
ホームページ　https://www.sbiokasan-am.co.jp

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ
03-3516-1300（受付時間：営業日の9:00～17:00）

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕		債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
2期(2024年９月17日)	11,502	0	△ 8.9	269,513.7374	2.9	0.2	98.9	138,316
3期(2025年３月17日)	10,903	0	△ 5.2	289,775.8518	7.5	0.2	99.5	126,760
4期(2025年９月16日)	15,092	0	38.4	339,294.9526	17.1	0.1	98.1	143,048
5期(2026年３月16日)	23,647	0	56.7	377,775.9216	11.3	0.1	98.0	183,863
6期(2026年９月16日)	32,603	0	37.9	420,441.0855	11.3	0.1	99.0	267,840

（注）基準価額および分配金（税引前）は１万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。
（注）MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕は、当該日前営業日の現地終値に為替レート（対顧客電信売買相場の当日（東京）の仲値）を乗じて当社が算出しております。（以下同じ。）
（注）当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

MSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

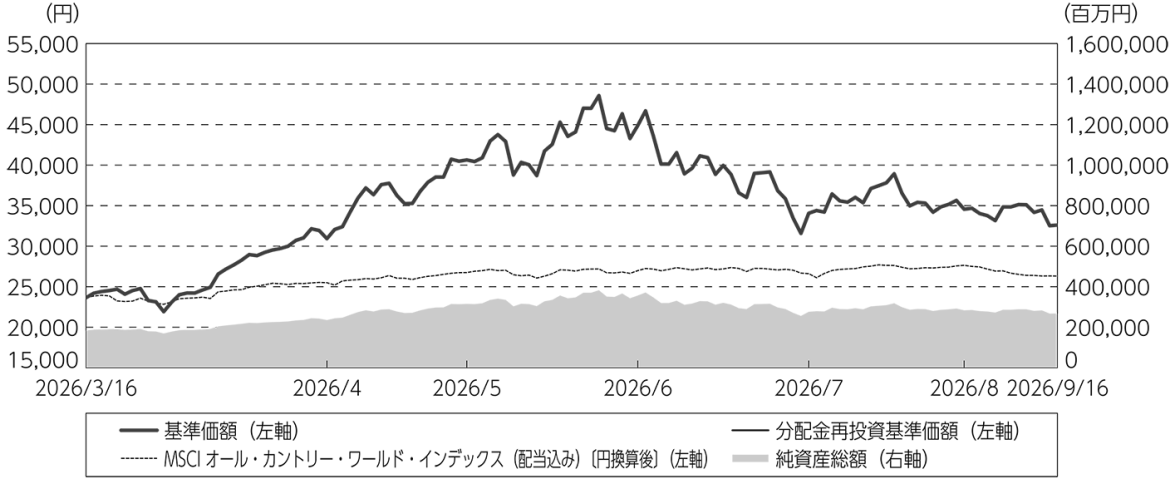
年月日	基準価額		MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕		債券組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率		
（期首）	円	%	ポイント	%	%	%
2026年３月16日	23,647	－	377,775.9216	－	0.1	98.0
３月末	21,920	△ 7.3	364,794.8385	△ 3.4	0.1	97.8
４月末	30,929	30.8	407,279.4497	7.8	0.1	99.0
５月末	40,641	71.9	427,358.3807	13.1	0.1	99.2
６月末	44,885	89.8	431,088.9383	14.1	0.1	99.1
７月末	34,062	44.0	425,161.9378	12.5	0.1	99.2
８月末	34,562	46.2	441,527.1840	16.9	0.1	99.2
（期末） 2026年９月16日	32,603	37.9	420,441.0855	11.3	0.1	99.0

（注）騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2026年3月17日～2026年9月16日）



期　首：23,647円
期　末：32,603円（既払分配金（税引前）：0円）
騰落率：　37.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕です。
（注）分配金再投資基準価額および参考指数は、期首（2026年３月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「Next Generation Semiconductor Fund（円建て、ヘッジなしクラス）」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

・半導体メモリ関連やロジック半導体などの保有銘柄の株価が上昇したことが、主なプラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

・個別要因などにより一部の保有銘柄の株価が下落したことが、主なマイナス要因となりました。
・為替市場において円高米ドル安が進行したことが、マイナス要因となりました。

投資環境

（2026年3月17日～2026年9月16日）

当期のグローバル株式市場は上昇しました。イラン紛争を巡り、戦闘終結への期待が高まったことなどが追い風となりました。2026年４月に米国とイランは一時停戦で合意し、６月半ばに戦闘終結の覚書を締結したことなどが材料となりました。一方、８月半ばには交渉の進展を欠いたまま覚書は失効しました。世界のエネルギー輸送の要衝であるホルムズ海峡が事実上封鎖されたことが懸念材料となった一方、大手クラウド事業者が人工知能（ＡＩ）計算資源に対する積極投資を継続したほか、宇宙開発やＡＩ開発を手掛ける米スペースＸが史上最大規模の新規株式公開（ＩＰＯ）を実施するなど、ＡＩ関連分野が市場の関心を集める展開となりました。

当期の半導体関連銘柄は大きく上昇しました。大手クラウド事業者によるＡＩインフラ投資の拡大が続いたことで、先端半導体や半導体メモリを手掛ける企業などが好業績を発表したことなどが背景です。ＡＩエージェント（自動的に動作するＡＩ）の開発・普及が本格化した中、複雑な計算処理を支えるＣＰＵ（中央処理装置）を手掛ける企業や記憶装置を手掛ける企業などの株価が良好でした。一方、韓国で個別銘柄に連動するレバレッジ型上場投資信託（ＥＴＦ）が解禁され、その後に規制されるといった動きがあったことから、同市場の主要銘柄である半導体メモリ関連などにおいて株価の変動性が高まりました。

国内短期金融市場では、中東情勢の悪化を背景とした原油価格の急騰を受け、国内のインフレ加速が意識されたことなどから、１年国債利回りは2026年４月中旬にかけて上昇しました。その後、利回りは低下する場面も見られたものの、６月末に発表された骨太の原案を受けて、財政拡張への懸念が強まったことから利回りは緩やかに上昇しました。さらには、８月上旬以降、日銀の９月会合での利上げとその後の利上げペース加速に対する思惑が強まったことなどから利回りは一段高となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2026年3月17日～2026年9月16日）

＜世界半導体関連フォーカスファンド＞

「Next Generation Semiconductor Fund（円建て、ヘッジなしクラス）」、「日本マネー・マザーファンド」を主要投資対象とし、「Next Generation Semiconductor Fund（円建て、ヘッジなしクラス）」を高位に組み入れて運用を行いました。実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行いませんでした。

○Next Generation Semiconductor Fund（円建て、ヘッジなしクラス）

半導体産業の拡大から業績面で恩恵を受ける半導体関連銘柄に、積極的な投資を実施しました。ＡＩデータセンターにおいて相互接続性の強化が求められる中、課題の解決に向けたソリューションを手掛ける企業などへ投資を行いました。具体的には、半導体ベースの高速接続ソリューションなどを手掛ける米国のマーベル・テクノロジーや米国のアステラ・ラブズなどに投資を行いました。一方、相対的な魅力度が低下したと判断したことなどから、ＡＳＩＣ（カスタム半導体）などを手掛ける米国のブロードコム、ＧＰＵ（画像処理半導体）などを手掛ける米国のエヌビディアなどを売却しました。また、グローバルな投資機会を幅広く追求した結果、米国、欧州、アジアの各地域に分散されたポートフォリオを構築しました。

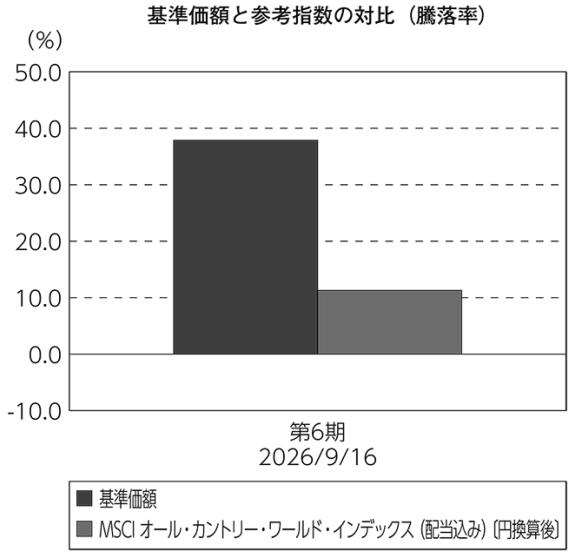
○日本マネー・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、国債のみを組み入れました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2026年3月17日～2026年9月16日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
（注）参考指数は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）〔円換算後〕です。

分配金

（2026年3月17日～2026年9月16日）

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

（単位：円、１万口当たり・税引前）

項目	第６期 2026年３月17日～ 2026年９月16日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	22,602

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

株式市場では、良好な企業業績と金利上昇の綱引きが続き、高値圏でのもみ合いとなっています。中東情勢は依然不透明で原油価格の押し上げ要因となっているものの、投資家のインフレ期待は総じて安定しています。目下の金利上昇には、債券需給の悪化に加え、ウォーシュ米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）議長による政策運営スタイルの変化も影響しているとみられます。バーナンキ議長就任以降、ＦＲＢは将来の金融政策の方向性を事前に示唆する「フォワード・ガイダンス」を政策運営の重要な柱としてきましたが、ウォーシュ議長は経済環境の変化に対する政策の柔軟性を高める観点から、その役割を後退させる方針を示しています。この方向性の転換は、政策の予見可能性を低下させ資産価格のボラティリティを高める要因となり得る一方、政策エラーが減少しインフレや経済成長の安定性が高まるのであれば、中期的には資産価格にプラスに働く可能性もあり、両面性を持つと考えられます。いずれにしても、現在は新体制発足直後の過渡期にあり、市場が新たな「反応関数」を見極めるまでは、相応の変動性が続くとみています。11月には米国中間選挙を控えており、イラン情勢を経て支持率が低下した共和党の苦戦が予想されます。政治・経済の両面で先行きの見通しが立てにくい状況下、株式市場のボラティリティは今後高まる可能性があります。こうした環境においては、着実な業績成長を実現できる企業の「質」が株価を左右する重要な要素になると考えます。

国内短期金融市場は、日銀による追加利上げ観測が残ることから、１年国債利回りに上昇圧力が掛かる展開を想定しています。

＜世界半導体関連フォーカスファンド＞

「Next Generation Semiconductor Fund（円建て、ヘッジなしクラス）」を高位に組み入れて運用を行います。実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジは行わない方針です。

○Next Generation Semiconductor Fund（円建て、ヘッジなしクラス）

半導体関連企業は中長期的な成長余地が大きく、魅力的な投資機会を提供していると考えています。新しい技術への半導体の活用と、それに向けた半導体の量産は、当ファンドが保有する半導体関連企業の業績にとって追い風になるものと考えます。引き続き、徹底したボトムアップ・リサーチを通じて、半導体産業の拡大に伴い業績成長が期待できる企業を選定し、バリュエーションにも注意を払った運用を実施する方針です。

株式への投資割合は、原則として高位を維持します。

○日本マネー・マザーファンド

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○１万口当たりの費用明細

（2026年３月17日～2026年９月16日）

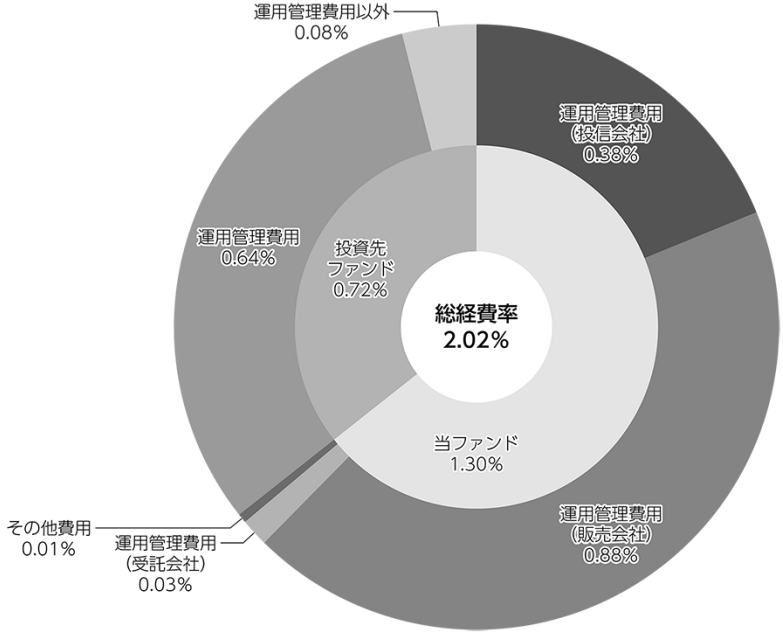
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	226	0.654	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(67)	(0.194)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(153)	(0.444)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.007	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	228	0.661	
期中の平均基準価額は、34,499円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.02％です。



（単位：％）

総経費率（①＋②＋③）	**2.02**
①当ファンドの費用の比率	1.30
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2026年３月17日～2026年９月16日）

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		口	千円	口	千円
国内	Next Generation Semiconductor Fund（円建て、ヘッジなしクラス）	609,896	24,678,000	209,686	6,061,000

（注）金額は受渡代金。
（注）単位未満は切捨て。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
日本マネー・マザーファンド	223,446	228,500	94,308	96,600

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2026年３月17日～2026年９月16日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年９月16日現在）

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
	口	口	千円	%
Next Generation Semiconductor Fund（円建て、ヘッジなしクラス）	7,192,070	7,592,280	265,228,726	99.0
合計	7,192,070	7,592,280	265,228,726	99.0

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
日本マネー・マザーファンド	267,451	396,589	406,702

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年９月16日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	265,228,726	98.1
日本マネー・マザーファンド	406,702	0.2
コール・ローン等、その他	4,708,529	1.7
投資信託財産総額	270,343,957	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年９月16日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	270,343,957,677
コール・ローン等	4,708,411,013
投資信託受益証券(評価額)	265,228,726,288
日本マネー・マザーファンド(評価額)	406,702,779
未収利息	117,597
(B) 負債	2,503,807,801
未払解約金	664,216,647
未払信託報酬	1,821,071,842
その他未払費用	18,519,312
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	267,840,149,876
元本	82,152,921,099
次期繰越損益金	185,687,228,777
(D) 受益権総口数	82,152,921,099口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	32,603円

(注) 計算期間末における１口当たりの純資産額は、3.2603円です。
(注) 当ファンドの期首元本額は77,752,434,612円、期中追加設定元本額は14,958,072,701円、期中一部解約元本額は10,557,586,214円です。

○損益の状況 (2026年３月17日～2026年９月16日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	13,025,130
受取利息	13,025,130
(B) 有価証券売買損益	55,788,297,728
売買益	66,516,562,239
売買損	△ 10,728,264,511
(C) 信託報酬等	△ 1,839,591,154
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	53,961,731,704
(E) 前期繰越損益金	73,828,210,027
(F) 追加信託差損益金	57,897,287,046
(配当等相当額)	(23,338,453,138)
(売買損益相当額)	(34,558,833,908)
(G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	185,687,228,777
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(Ｇ＋Ｈ)	185,687,228,777
追加信託差損益金	57,897,287,046
(配当等相当額)	(23,338,499,549)
(売買損益相当額)	(34,558,787,497)
分配準備積立金	127,789,941,731

(注) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 収益分配金

決算期	第６期
(a) 配当等収益(費用控除後)	16,017,325円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)	53,945,714,379円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	57,897,287,046円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	73,828,210,027円
分配対象収益(a＋b＋c＋d)	185,687,228,777円
分配対象収益(１万口当たり)	22,602円
分配金額	0円
分配金額(１万口当たり)	0円

〈お知らせ〉

・一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年４月１日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2026年４月１日)

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2026年９月16日現在）

＜日本マネー・マザーファンド＞

下記は、日本マネー・マザーファンド全体(473,965千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債　種類別開示

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	304,000	303,541	62.4	－	－	－	62.4
	(304,000)	(303,541)	(62.4)	(－)	(－)	(－)	(62.4)
合計	304,000	303,541	62.4	－	－	－	62.4
	(304,000)	(303,541)	(62.4)	(－)	(－)	(－)	(62.4)

(注)（ ）内は非上場債券で内書きです。
(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。
(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債　銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第1332回国庫短期証券	－	53,000	52,989	2026/９/24
第1373回国庫短期証券	－	50,000	49,964	2026/10/13
第1379回国庫短期証券	－	53,000	52,922	2026/11/10
第1386回国庫短期証券	－	53,000	52,878	2026/12/10
第1402回国庫短期証券	－	50,000	49,898	2026/11/24
第1404回国庫短期証券	－	45,000	44,888	2026/12/７
合計		304,000	303,541	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

＜参考情報＞

Next Generation Semiconductor Fund（円建て、ヘッジなしクラス）

＜当ファンドの仕組みは次の通りです＞

Next Generation Semiconductor Fund	
シェアクラス	円建て、ヘッジなしクラス
ファンドの形態	ケイマン籍円建て外国投資信託
運用会社	ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シー
基本方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指します。
投資対象	主として、日本を含む世界各国の取引所等に上場している半導体関連企業※の株式（預託証券（DR）を含みます。）に投資します。 ※半導体関連企業とは、半導体産業の構造的成長から業績面で恩恵を受ける企業をいいます。
投資態度	①投資銘柄は、半導体関連企業の中から、ファンダメンタルズ分析を通じて成長性や株価バリュエーションを精査した上で選定します。 ②株式への投資割合は、原則として高位を維持します。 ③資金動向、市況動向の急激な変化が生じたとき等ならびに投資信託財産の規模によっては、上記の運用ができない場合があります。
主な投資制限	①デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定します。 ②レバレッジを活用した取引（レンディング、レポ取引を含む）及び売建て（ショート）取引は行いません。
運用報酬	純資産総額×年率0.65％
その他費用	運用資産の管理・保管業務等および監査業務の対価としての事務管理費用、有価証券の売買にかかる費用、臨時で発生する費用、租税等がかかります。

以下は、Next Generation Semiconductor Fundの監査済報告書の情報を基に掲載しております。ＳＢＩ岡三アセットマネジメントは正確性、完全性を保証するものではありません。

損益計算書

自 2024年６月29日 至 2025年６月30日
（単位：米ドル）

Investment income		
Dividend income (net of withholding taxes of $1,863,309)	$	5,943,516
Interest income		1,109,103
Total investment income		7,052,619
Expenses		
Investment management fees		6,110,251
Accounting and administrative fees		379,293
Custody fees		169,742
Trustee fees		95,764
Professional fees		44,536
Transfer agent fees		17,626
Other expenses		15,785
Total expenses		6,832,997
Net investment income/(loss)		219,622
REALIZED GAIN/(LOSS) AND UNREALIZED APPRECIATION/(DEPRECIATION):		
Net realized gain/(loss) on:		
Investments in securities		(31,899,308)
Foreign currency transactions and forward foreign currency contracts		(319,612)
Net realized gain/(loss)		(32,218,920)
Net change in unrealized appreciation/(depreciation) from:		
Investments in securities		18,046,382
Foreign currency translations		(14,857)
Net change in unrealized appreciation/(depreciation)		18,031,525
Net realized gain/(loss) and unrealized appreciation/(depreciation)		(14,187,395)
Net increase/(decrease) in net assets resulting from operations	$	(13,967,773)

The accompanying notes are an integral part of these financial statements.

Next Generation Semiconductor Fund
Schedule of Investments
As of June 30, 2025

(Expressed in United States Dollars)

Shares	Security Description	Fair Value
	COMMON STOCKS (96.9%)	
	GERMANY (2.5%)	
	SEMICONDUCTORS (2.5%)	
572,249	Infineon Technologies AG	$ 24,256,591
	TOTAL GERMANY (Cost $21,168,327)	**24,256,591**
	ISRAEL (3.0%)	
	SEMICONDUCTORS (3.0%)	
35,822	Nova, Ltd.	9,858,214
452,436	Tower Semiconductor, Ltd.	19,613,101
		29,471,315
	TOTAL ISRAEL (Cost $27,261,031)	**29,471,315**
	JAPAN (3.0%)	
	SEMICONDUCTORS (3.0%)	
248,100	Advantest Corp.	18,299,221
57,000	Tokyo Electron, Ltd.	10,921,778
		29,220,999
	TOTAL JAPAN (Cost $22,955,759)	**29,220,999**
	NETHERLANDS (9.7%)	
	SEMICONDUCTORS (9.7%)	
49,987	ASM International NV	31,881,138
27,819	ASML Holding NV	22,293,868
80,585	BE Semiconductor Industries NV	12,016,721
137,161	NXP Semiconductors NV	29,968,307
		96,160,034
	TOTAL NETHERLANDS (Cost $93,903,663)	**96,160,034**
	SOUTH KOREA (1.5%)	
	SEMICONDUCTORS (1.5%)	
110,543	Samsung Electronics Co., Ltd.	4,897,008
46,343	SK Hynix, Inc.	10,024,562
		14,921,570
	TOTAL SOUTH KOREA (Cost $14,663,937)	**14,921,570**
	SWITZERLAND (0.5%)	
	SEMICONDUCTORS (0.5%)	
173,198	STMicroelectronics NV	5,266,951
	TOTAL SWITZERLAND (Cost $4,800,546)	**5,266,951**
	TAIWAN (5.7%)	
	SEMICONDUCTORS (5.7%)	
275,000	MediaTek, Inc.	11,765,411
197,657	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd. - ADR	44,767,334
		56,532,745
	TOTAL TAIWAN (Cost $39,902,084)	**56,532,745**
	UNITED KINGDOM (1.0%)	
	SEMICONDUCTORS (1.0%)	
60,764	ARM Holdings PLC - ADR	9,827,969
	TOTAL UNITED KINGDOM (Cost $7,017,801)	**9,827,969**
	UNITED STATES (70.0%)	
	COMPUTERS (3.2%)	
314,510	Sandisk Corp.	14,263,028
63,111	Seagate Technology Holdings PLC	9,108,811
131,319	Western Digital Corp.	8,403,103
		31,774,942
	ELECTRONICS (7.9%)	
253,821	Amphenol Corp. Class A	25,064,824
889,176	Applied Optoelectronics, Inc.	22,842,931
338,906	Coherent Corp.	30,233,804
		78,141,559
	SEMICONDUCTORS (50.3%)	
171,782	Advanced Micro Devices, Inc.	24,375,866
455,759	Allegro MicroSystems, Inc.	15,582,400
119,409	Ambarella, Inc.	7,888,756
166,136	Analog Devices, Inc.	39,543,691
54,464	Applied Materials, Inc.	9,970,724
101,997	Astera Labs, Inc.	9,222,569
287,740	Broadcom, Inc.	79,315,531
421,234	Intel Corp.	9,435,642
23,874	KLA Corp.	21,384,897
381,310	Lam Research Corp.	37,116,715
180,417	MACOM Technology Solutions Holdings, Inc.	25,851,952
325,283	Micron Technology, Inc.	40,091,130
87,420	MKS, Inc.	8,686,051
29,077	Monolithic Power Systems, Inc.	21,266,336
504,996	NVIDIA Corp.	79,784,318

The accompanying notes are an integral part of these financial statements.

Next Generation Semiconductor Fund
Schedule of Investments (continued)
As of June 30, 2025

(Expressed in United States Dollars)

	Shares	Security Description	% of Net Assets	Fair Value
		COMMON STOCKS (96.9%) (continued)		
		UNITED STATES (70.0%) (continued)		
		SEMICONDUCTORS (50.3%) (continued)		
	57,293	QUALCOMM, Inc.		$ 9,124,483
	396,884	Semtech Corp.		17,915,344
	66,351	Silicon Laboratories, Inc.		9,777,483
	23,496	SiTime Corp.		5,006,528
	122,835	Texas Instruments, Inc.		25,503,003
				496,843,419
		SOFTWARE (4.7%)		
	65,437	Cadence Design Systems, Inc.		20,164,412
	50,514	Synopsys, Inc.		25,897,517
				46,061,929
		TELECOMMUNICATIONS (3.9%)		
	314,828	Credo Technology Group Holding, Ltd.		29,149,925
	44,137	InterDigital, Inc.		9,896,839
				39,046,764
		TOTAL UNITED STATES (Cost $555,160,378)		**691,868,613**
		TOTAL COMMON STOCKS (Cost $786,833,526)		**957,526,787**
	Principal Amount	**Security Description**		
		SHORT-TERM INVESTMENTS (3.2%)		
		TIME DEPOSITS (3.2%)		
		SINGAPORE (3.2%)		
		DBS Bank, Ltd.		
USD	31,399,305	3.58% due 07/01/2025		31,399,305
		TOTAL SINGAPORE (Cost $31,399,305)		**31,399,305**
		UNITED KINGDOM (0.0%)*		
		Canadian Imperial Bank of Commerce		
EUR	3,358	0.86% due 07/01/2025		3,942
		TOTAL UNITED KINGDOM (Cost $3,942)		**3,942**
		TOTAL TIME DEPOSITS (Cost $31,403,247)		**31,403,247**
		TOTAL SHORT-TERM INVESTMENTS (Cost $31,403,247)		**31,403,247**
		TOTAL INVESTMENTS (Cost $818,236,773)	**100.1%**	**$ 988,930,034**
		LIABILITIES IN EXCESS OF CASH AND OTHER ASSETS	**(0.1)%**	**(979,069)**
		NET ASSETS	**100.0%**	**$ 987,950,965**

* A zero balance reflects actual amounts rounding to less than 0.05%.

PORTFOLIO ABBREVIATIONS

EUR	Euro
USD	United States Dollar
ADR	American Depositary Receipt

The accompanying notes are an integral part of these financial statements.

日本マネー・マザーファンド
第20期　運用状況のご報告
決算日：2025年10月10日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式および外貨建資産への投資は行いません。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
16期(2021年10月11日)	10,166	△0.1	92.3	－	445
17期(2022年10月11日)	10,159	△0.1	85.6	－	446
18期(2023年10月10日)	10,153	△0.1	89.5	－	424
19期(2024年10月10日)	10,156	0.0	76.1	－	755
20期(2025年10月10日)	10,192	0.4	72.8	－	437

(注) 基準価額は１万口当たり。
(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っていません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。
(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

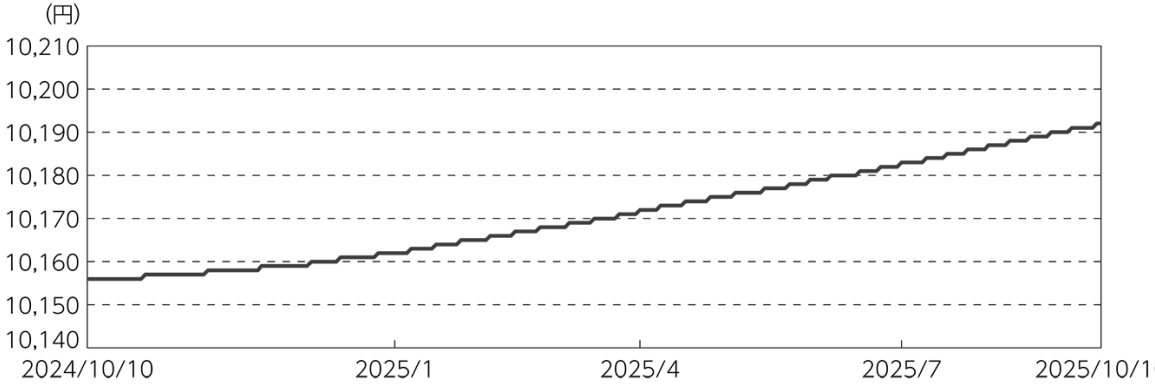
年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
(期　首)	円	%	%	%
2024年10月10日	10,156	－	76.1	－
10月末	10,157	0.0	73.5	－
11月末	10,158	0.0	76.9	－
12月末	10,160	0.0	77.5	－
2025年１月末	10,162	0.1	79.0	－
２月末	10,165	0.1	89.2	－
３月末	10,168	0.1	97.1	－
４月末	10,172	0.2	85.0	－
５月末	10,175	0.2	76.3	－
６月末	10,179	0.2	71.9	－
７月末	10,183	0.3	88.7	－
８月末	10,186	0.3	74.2	－
９月末	10,190	0.3	75.1	－
(期　末)				
2025年10月10日	10,192	0.4	72.8	－

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2024年10月11日～2025年10月10日）



○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

・安定的な利息収入がプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

・特にありません。

投資環境

（2024年10月11日～2025年10月10日）

国内短期金融市場では、日銀による早期追加利上げへの観測が強まるなか、2025年１月には実際に追加利上げが実施されたことなどを受けて、１年国債利回りは３月にかけて大きく上昇しました。その後、４月上旬のトランプ米政権による相互関税の発動などを背景に、利回りは上昇幅を縮小する場面も見られました。しかし、７月の参院選で与党が過半数を割り込んだことや日米関税交渉が合意に至ったこと、日銀の追加利上げが意識されたことから１年国債利回りは再び上昇基調となりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年10月11日～2025年10月10日）

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とした運用を行いました。当期間中は、国債および政府保証債を組み入れました。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

国内短期金融市場は、日銀による追加利上げ観測が残ることから、１年国債利回りには上昇圧力が掛かる展開を想定しています。

（運用方針）

わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とし、安定した収益確保を目的に運用を行います。

○１万口当たりの費用明細

（2024年10月11日～2025年10月10日）

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

（2024年10月11日～2025年10月10日）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	209,777	－ (150,000)
	特殊債券	534,041	－ (850,000)

（注）金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）
（注）単位未満は切捨て。
（注）（ ）内は償還等による増減分です。

○利害関係人との取引状況等

（2024年10月11日～2025年10月10日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2025年10月10日現在）

国内公社債

（A）国内（邦貨建）公社債　種類別開示

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	130,000	129,896	29.7	－	－	－	29.7
	(130,000)	(129,896)	(29.7)	(－)	(－)	(－)	(29.7)
特殊債券（除く金融債）	189,000	188,970	43.2	－	－	－	43.2
	(189,000)	(188,970)	(43.2)	(－)	(－)	(－)	(43.2)
合計	319,000	318,867	72.8	－	－	－	72.8
	(319,000)	(318,867)	(72.8)	(－)	(－)	(－)	(72.8)

（注）（ ）内は非上場債券で内書きです。
（注）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。
（注）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

（B）国内（邦貨建）公社債　銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第1320回国庫短期証券	－	40,000	39,995	2025/10/20
第1333回国庫短期証券	－	50,000	49,953	2025/12/22
第1335回国庫短期証券	－	40,000	39,947	2026/1/13
小計		130,000	129,896	
特殊債券（除く金融債）				
第258回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.386	65,000	64,994	2025/10/31
第261回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.381	50,000	49,999	2025/11/28
第79回政府保証地方公共団体金融機構債券	0.379	74,000	73,977	2025/12/12
小計		189,000	188,970	
合計		319,000	318,867	

（注）額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2025年10月10日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	318,867	72.8
コール・ローン等、その他	118,947	27.2
投資信託財産総額	437,814	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年10月10日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	437,814,777
コール・ローン等	118,765,510
公社債(評価額)	318,867,594
未収利息	181,673
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A－B)	437,814,777
元本	429,581,423
次期繰越損益金	8,233,354
(D) 受益権総口数	429,581,423口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,192円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.0192円です。
(注) 当ファンドの期首元本額は744,170,708円、期中追加設定元本額は4,093,713円、期中一部解約元本額は318,682,998円です。
(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）
175,240,939円
世界半導体関連フォーカスファンド
168,231,738円
米国短期ハイ・イールド債券オープン
30,455,428円
新興国連続増配成長株オープン
30,087,646円
グローバル仮想世界株式戦略ファンド(愛称　フューチャーメタバース)
14,456,092円
ＰＩＭＣＯダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)
(愛称　世界のマイスター（資産成長型))
5,487,254円
アジア・オセアニア好配当成長株オープン（１年決算型）
3,626,212円
ＰＩＭＣＯダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(年２回決算型)
(愛称　世界のマイスター（年２回決算型))
1,996,114円

○損益の状況 (2024年10月11日～2025年10月10日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	2,433,830
受取利息	2,433,830
(B) 有価証券売買損益	△ 434,486
売買益	188,289
売買損	△ 622,775
(C) 当期損益金(A＋B)	1,999,344
(D) 前期繰越損益金	11,586,362
(E) 追加信託差損益金	76,830
(F) 解約差損益金	△ 5,429,182
(G) 計(C＋D＋E＋F)	8,233,354
次期繰越損益金(G)	8,233,354

(注) 損益の状況の中で(B)**有価証券売買損益**は、期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(E)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) 損益の状況の中で(F)**解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。(実施日：2025年４月１日)